社説

沙市の暴徒

昨日の號外を以て報じたる如く去る九日支那湖北省の新開市塲沙市に於て暴徒蜂起、市中を燒拂ひ日本領事館も災に罹りて領事は難を避けたりと云ふ領事は夫人を携帯のよし甚だ心元なけれども難を避けたりとあれば一身は先づ以て無難なりしならん委細は後報を待つこととして扨その暴徒とは如何なる種類のものにして如何なる目的にて蜂起したるや知る可らずと雖も元來湖北邊の人氣は甚だ穩ならず排外の思想盛にして現に沙市の開市に付ても人民の反對容易ならず政府の力を以て漸く目的を達したる程の次第なれば今回の騷動も何れ外人排斥の原因より發し或は無智の細民などを煽動して事の茲に及びたるものなる可し彼の內地に珍しからぬ沙汰にして別に深き事情の存せざる可きは我輩の推察する所なれども兎に角に暴民等が我領事館を燒拂ひ我領事を侮辱したるは實際の事實として其處分を如何す可きやと云ふに外國の例に徴すれば一二人の宣教師の殺されたるが爲めに其賠償と稱して土地の貸與を求め又は種々過大の條件を要求するなど支那に對するの擧動は隨分手強きものあるが如し本來宣教師の如きは身邊の保護もなく危險を冒して內地に深入し無智の人民に直接することなれば時として生命を危うするの出來事も深く怪しむに足らざれども今回の亂暴は儼然たる兩國の條約に依り開市港に建られたる日本政府の領事館を燒拂ひたることなれば宣教師の殺害などゝは全く塲合を殊にして明に國の體面に汚辱を加へたるものと云はざるを得ず事の輕重大小同日の談に非ざれば若しも日本人にして此出來事を利して何か大に求むるの考あらんには土地の貸與なり其他の條件なり思ひ切たる要求を提出するも他の例に對して決して不當に非ず大に乘ず可きの機會なれども日本人は支那に對して野心を挾むものに非ず他の弱味に付込み過大の要求を提出するが如きは敢て爲さゞる所なり然りと雖も此事件たる決して輕々に看過す可らず事の原因は前記の如くにして彼の政府に他意なきは明白なりと云ひながら苟も一國の政府として其責任は斷じて免かれざるのみならず是種の騷擾にして[illegible]することもあらんには我商賈貿易の前途に容易ならざる損害を見る可し決して此儘に付す可きに非ざれば政府に於ては遂に彼の政府に談判して損害の賠償を求むるは勿論、暴徒を捕へて嚴罰に處[illegible]もなく[illegible]行爲[illegible]不都合[illegible]の處分に[illegible]して[illegible]に對して彼に於ても一も二もなく承服して直に其實を擧げ以て謝意を表することならん我輩は今度の事件に就ては其事情を了して深く咎めず苟も彼の政府が充分の誠意を以て事を處分せんには之に滿足せんとするものなり唯茲に一言以て彼の政府に忠告する所のものあるは外ならず日本人は敢て他の弱味に乘ずるの擧動に出でざれども今後若しも他の外國領事館などに對して斯る亂暴の擧動もあらんには如何なる大事を惹起すに至るやも知る可らず宣教師殺害の始末を見ても知る可きなれば支那政府たるものは大に警めて開市塲等の取締に注意し苟めにも外國人に對して不都合の擧動なきを期せざる可らず若しも其取締法に付き自國の力に及ばざる點あらんには信用ある交際國に依賴して其助力を求むるも差支ある可らず今度の事に就て深く日本人の好意を感謝すると共に今後自から警めて斯る事件の發生を豫防するに全力を盡さんこと我輩の呉れ〴〵も忠告する所なり

京釜鐵道は朝鮮文明の先驅なり

朝鮮を開くには韓廷に對する區々たる權力の消長を爭はず廣く其國民に接す可しとは我輩の既に論じたる所にして其方法は一にして足らざれども鐵道敷設は第一に着手す可きものなり例へば朝鮮渡行を奬勵して續々人を送るも內地に入るを能はざれば手を束ねて茫然たるの外なし假令ひ又內地を開放して何れの所に於て如何なる業務に從事するも勝手次第としても道なき所には人も物も入るを得ず開國は只名のみにして半嶋の風色は依然たる可し然るに今もし朝鮮の富源なる三南地方を貫いて一條の鐵道を通ぜんか恰も河の堰を撤したるが如くにして日本の事物が盛に半嶋の內地に流るゝと共に朝鮮の產物も出口を得て俄に貿易の繁昌を致すのみならず無形の感化も亦大なる可し教育宗教は人を敎化するの具にして其功能薄きに非ざれども一朝にして未開人民の思想を一變するものは實に鐵道なり始めて京濱間に汽車を通ぜしとき日本の人民が如何に驚動せしかは世人の知る所にして今日にても新に鐵道を開通すれば沿道の人民は只管その便利を感歎して地方の人事、夫れより漸く活動するの例なり朝鮮人如何に鈍しと云ふも自轉に長蛇の飛ぶが如きを見ては驚かざるを得ず而して其驚きは即ち思想一變の端緒にして百里の道を一日に旅するを得るに至れば一反の金巾を買ふに半日を費やし役所に出で[illegible]又貴人が道を歩むに左右より[illegible]せられて[illegible]するが如き悠々閑々[illegible]は都て[illegible]所と爲り隨て郵便[illegible]云ふに及[illegible]の必要を感じ[illegible]發行の入用をも悟る[illegible]至る可きは必然なり則ち鐵道は文明の先驅たるを知る可し然かのみならず三南地方に於ては往々にして暴徒蜂起するの例なれども一旦此間に鐵道を通ずれば多數の日本人が其沿道に入り込む可きは自然の勢にして或は當分の間、電信の例に倣ひ線路保護の爲めに憲兵巡査を配置するの必要もある可し然るに朝鮮人は平生より我を憚るが故に斯く多數の日本人が入込みたる地方に於て敢て暴動を企てざるは明白にして假令ひ或は企つることありとするも在朝鮮の我兵隊巡査は直に駈付けて之を鎭定すること容易なる可し此點より云へば京釜鐵道は單に朝鮮文明の先驅たるのみならず亦實に半嶋平和の保證と云ふも可なり何は兎もあれ先づ此鐵道を敷設せんこと希望に堪へず或は鐵道の必要は然ることながら資本なきを如何せんとの說もなきに非ざれども錢なきは憂ふるに足らず如何なる富豪にても手元に遊金なきこともある可し遊金なければとて目前に有益の事業を見ながら出來る金策もせずして空しく時機を逸せしむるは事業家の本色に非ず今日本の財政困難なりと云ふと雖も貧窮に非ず只國庫に餘財なしと云ふの意のみ租稅は幾千萬圓にても增徵すること容易にして外國の市塲に融通を求むれば二億や三億の錢は立ろに辨ず可し況んや朝鮮の企業には國庫に餘る銀貨を利用するの法もなきに非ざるをやいよ〳〵着手と決心さへすれば京釜鐵道の資金の如き云ふに足らず或は政府自から手を下すに何か不便の事情もあらんか其利益を保證し若しくは資本を給して民間の有志に經營せしむるも可なり兎に角に京釜鐵道は朝鮮に對する百般施設の基礎にして他の計畫は皆之れに依て行はるゝものなれば速に着手せんこと我輩の切に希望する所なり

○清國沙市に暴徒蜂起日本領事館を燒拂ふ

一昨夜或る筋に達したる電報左の如し

本月九日湖北省の新開市塲沙市に暴徒蜂起し日本領事館税關等は一切燒拂はれ日本領事永瀧久吉氏は難を船中に避けたり

○沙市暴徒に關する公報

（昨日の官報號外）

[illegible]

本月九日午後七時沙市に於て暴徒起り税關、汽船會社及び帝國領事館を燒拂ひたり

○閏年に關する勅令

昨日の官報を以て閏年に關する勅令を公布したり其全文左の如し

神武天皇即位紀元年數の四を以て整除し得べき年を閏年とす但し紀元年數より六百六十を減じ百を以て整除し得べきものゝ中更に四を以て其商を整除し得ざる年は平年とす

○敍任辭令

東京帝國大學法科大學敎授　一木喜德郎
兼任內務省參事官（敍高等官二等）
任司稅官補（敍高等官八等）　稅務屬　高東　康一
任裁判所書記長（敍高等官七等）　裁判所書記　北條　直方
任判事（敍高等官八等）　齋藤　巽造
同（同）　大道　讓松
同（同）　勝嶋勝四郎
同（同）　澤田　謙哉
任第二高等學校敎授（敍高等官六等）　池田廉一郎
兼任女子高等師範學校敎授（敍高等官六等）　華族女學校敎授　津田　梅子
任東京美術學校敎授（敍高等官六等）　今泉　雄作
同（敍高等官八等）　東京美術學校助敎授　梶野子之吉
同（同）　[illegible]川　[illegible]
兼任兵庫縣師範學校長　兵庫縣農事試驗場長　小野孫三郎
任鳥取縣師範學校敎諭　佐野川泰彥
任岐阜縣尋常中學校長兼岐阜縣尋常中學校敎諭　松井　敬勝
任岐阜縣東濃尋常中學校敎諭　林　光德
白耳義國アントヴエルスニ於テ放免囚徒幷濫兒保護ニ關スル萬國會議開設ニ付委員トシテ參列被仰付　公使館三等書記官　堀口九萬一
免兼官　東京帝國大學法科大學敎授兼內務書記官　一木喜德郎
依願滋賀縣第一尋常中學校敎諭ヲ免ス（以上五月十日）　滋賀縣第一尋常中學校敎諭　今　章治

○慶應義塾の園遊會

今度慶應義塾に於ては鎌田榮吉氏を塾長に推選し又同塾大學部敎授として招聘したる米國文學者ペルリ氏も此程來着したるに付き右兩氏の披露と紹介とを兼ね來る十六日午後二時より朝野の紳士を招待し芝區三光町（廣尾の舊狸そば）福澤先生の別邸に於て園遊會を催すよし但し同日雨天なれば其翌十七日に順延する筈なりといふ

MAY BE A CHOLERA CASE.

"Ma'am," said a quack to a nervous old lady, "your case is a scrutomory complaint, and is rapidly becoming chronic."

"Pray, Doctor, what is that?"

"It is the dropping of the nerves ma'am, the nerves having fallen in the whizerinktum, the chest becomes incorberous and the head goes tisarizeen, tisarizeen!"

"Ah, doctor," exclaimed the old lady, "you have described my feelings exactly."

虎列剌でもあッたか知らん

藪井先生、神經質の老夫人に宣告して云ふやう

あのナ御婦人、其許の病症は是りや狄羅天殿氣と云て夫れは〳〵恐る可き難症、早〳〵治療を施さぬと痼疾に成りますぞ

へーイ[illegible]醫者樣、そりや一體如何云ふ病で御在ます

夫れはナ神經の洗濯で神經が[illegible]に陷て胸腑が粉骨碎身と成り頭腦が渦狀旋轉を始めるので御坐る

と、老夫人は[illegible]の聲を發して

實に[illegible]醫者樣、貴醫は私の氣分をスッカリ[illegible]

○犯罪

「尤も私が、

は色々事情の

の術は說き

り夜の事とて、

ざりしも、後に

たる時には、

たる由を云へ

たるその顏の

初むるに至れ

石を滅すには

と、伴の云ひ

し、我はその

も爲たり顏に

上は、轉た疑

は人の身は、

むるの基を作

或る所にて、

からぬ擧動あ

の男の怪しむ

況證據の存する

我にのみ徒に

自ら奮ひて、

に我が身の安

めに、我は彼

を招きて、先

に、彼一たび

我も實はその

が如き、資金を

風采も畢竟は

左もあるべく

て、我に心を

その後に、親し

斯くて日毎に、

ッ試みる事の

ルーピー一銖

情緒故ら

ずは、今日